

教科	音楽	単元名	歌唱『夏の思い出』
----	----	-----	-----------

## 本時のねらい

・「夏の思い出」の情景を思い浮かべながら、言葉を大切にして表現することができる。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・自分の歌声を録音し、客観的に自分の歌声を聴き返すことで、歌唱の表現の改善につなげる。
- ・記録に残した元の歌声と工夫を重ねた歌声をいつでも聴き比べることができる。
- ・歌詞の中の難しい言葉や注目したい言葉の意味をインターネットで調べることで、さらに深く情景を思い浮かべる。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・テレビモニター
- ・ロイロノート

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やさしさに包まれたなら」の歌唱（声だし）</li> <li>・「夏の思い出」の1番をCDで聴き、旋律を覚える。</li> <li>・「夏の思い出」の歌唱練習</li> <li>・自分の歌声を録音する。</li> </ul> <p>【写真1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の持つイメージを詳しく知る前に、自分の歌声を記録に残す。</li> </ul>
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜（歌詞）に合ったスライド（写真）を当てはめながら曲のイメージを掴む。 ①尾瀬 ②ミズバショウ ③しゃくなげ色 ④まなこ</li> <li>・自分の歌声の聴き取りにくかった言葉や表現を確かめ、楽譜に印をつけていく。</li> <li>・グループで自分がつけた印を共有し、どのように歌うと、より良くなるかを話し合っ、ワークシートにまとめる。</li> <li>・話し合った内容を大切に、再度、歌声を録音する。</li> </ul> <p>【写真2】 【写真3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しい言葉や注目したい意味を調べ、ロイロノートの楽譜カードに画像やテキストを貼り付けることで、歌詞の持つイメージを明確にする。</li> <li>・自分の歌声を客観的に聴き、何に気をつけて歌えばいいのかを明確に捉えることができる。</li> <li>・歌声を録音し、気づいたことをカードに書き込み、友達と共有することでさらなる改善点を見つける。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目と2回目の違いや、気づいたことをワークシートにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し聴き直すことができるため、自分の歌声の変化を感じ取れたり、良さを見つけたりすることができる。</li> </ul>

## 1人1台端末を活用した活動の様子



写真1 『夏の思い出』の楽譜に自分の歌声を録音している場面



写真2 歌詞の意味をインターネット検索し、画像を楽譜に貼り付けている場面



写真3 録音した音声を聴き合い、感想を述べ合っている場面

## 児童生徒の反応や変容

自分の歌声を録音し、客観的に自分の声を聴くことが新鮮だったようです。交流しながら、生徒たちの間からは、「もっと声を出した方が聴きやすい！」「ことばが聴き取れない・・・」などの感想も上がっていました。まとめのワークシートを確認すると、自分の変化を感じることができたり、良さを見つけたりできたりしている生徒が多くいました。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

「記録に残すこと」「変化を感じる」「意見を交流・共有すること」が、ICT活用の利点だと日ごろの授業を通して感じています。本時の授業では、この3つ全ての使い方にチャレンジしましたが、1時間の活動としては取組みが多すぎて、生徒たちがじっくり言葉の意味を調べたり、1回目と2回目の録音した歌声を聴き比べたりする時間が短くなりました。調べ学習は家庭で行うなど、持ち帰り学習を充実させることで、授業では1つのことに重点をおいて取り組むことができるようにしていきたいです。